



スキー場諸元

名称：ホワイトバレースキー場

総面積	14.8 ha
コース数	5 本
標高差	375 m (641 m-1,016 m)
最大斜度	38 度 (ファイティング)
リフト総延長	1,222 m
リフト数	2 基
事業者	谷川温泉観光開発(株)
開業時	谷川温泉観光開発(株)
定休日	毎週水曜日・木曜日 (年末年始を除く)



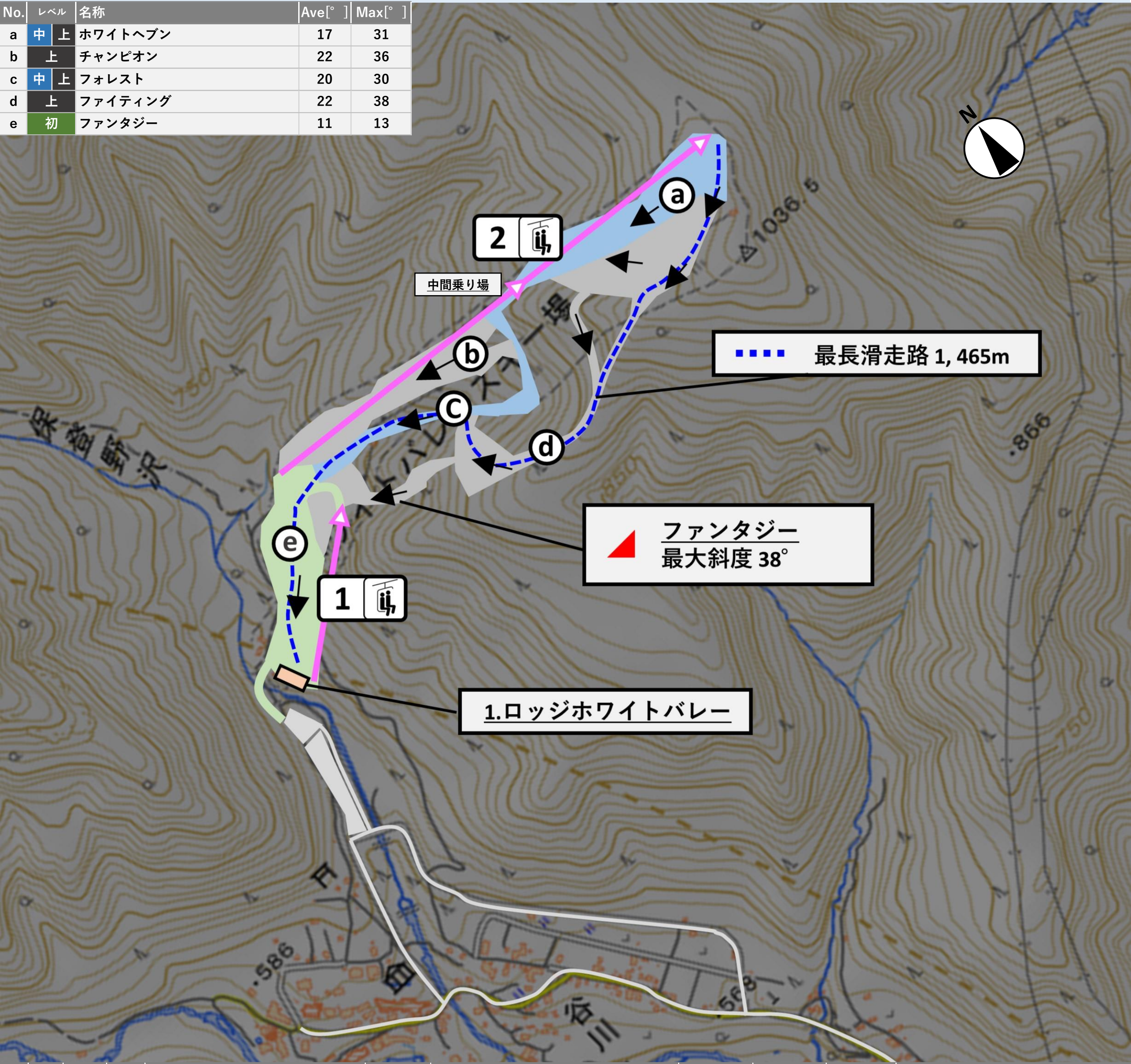
みなかみ地区穴場のパウダーゲレンデ

「く」の字形状のゲレンデを持つホワイトバレー。その形状から、ゲレンデ下部からスキー場全体を見渡すことができないが、ゲレンデ上部は下部の景色とは打って変わって開けたゲレンデを持ち、晴れた日は谷川連峰を望みながら滑走を楽しめる。また、スキー場上部はほぼ圧雪をしないパウダー愛好家向けのゲレンデとなっている。みなかみエリアでもそこまで知名度が高くない(小声)ので、パウダー競争率は低いと思われる。毎週水曜日・木曜日は定休日であることから、パウダーのねらい目は金曜日で、この2日間に降雪があった場合はため込んだパウダーを楽しむ。

一方、第1ペア沿線は、滑り出しこそ少々狭く急斜面であるが、初級者も十分に楽しめるゲレンデになっている。レンタルルームがあったりとファミリーにも優しいスキー場であるが、前述のとおりスキー場大部分はパウダーに特化したゲレンデであるので、中級者はほぼ滑るところがなく、パウダーを楽しむ人がいるファミリー向けのスキー場といえる。

コースマップ

No.	レベル		名称	Ave[°]	Max[°]
a	中	上	ホワイトヘブン	17	31
b		上	チャンピオン	22	36
c	中	上	フォレスト	20	30
d		上	ファイティング	22	38
e	初		ファンタジー	11	13



No.	定員	形式	フード	名称	キロ程[m]	キロ程グラフ	山麓標高[m]	山頂標高[m]	高低差[m]	高低差	グラフ
1	2	CLF	-	第1ペア	272		641	727	86		
2	2	CLF	-	第2ペア	950		700	1,016	316		

■：連絡線 ▲赤字：休止中

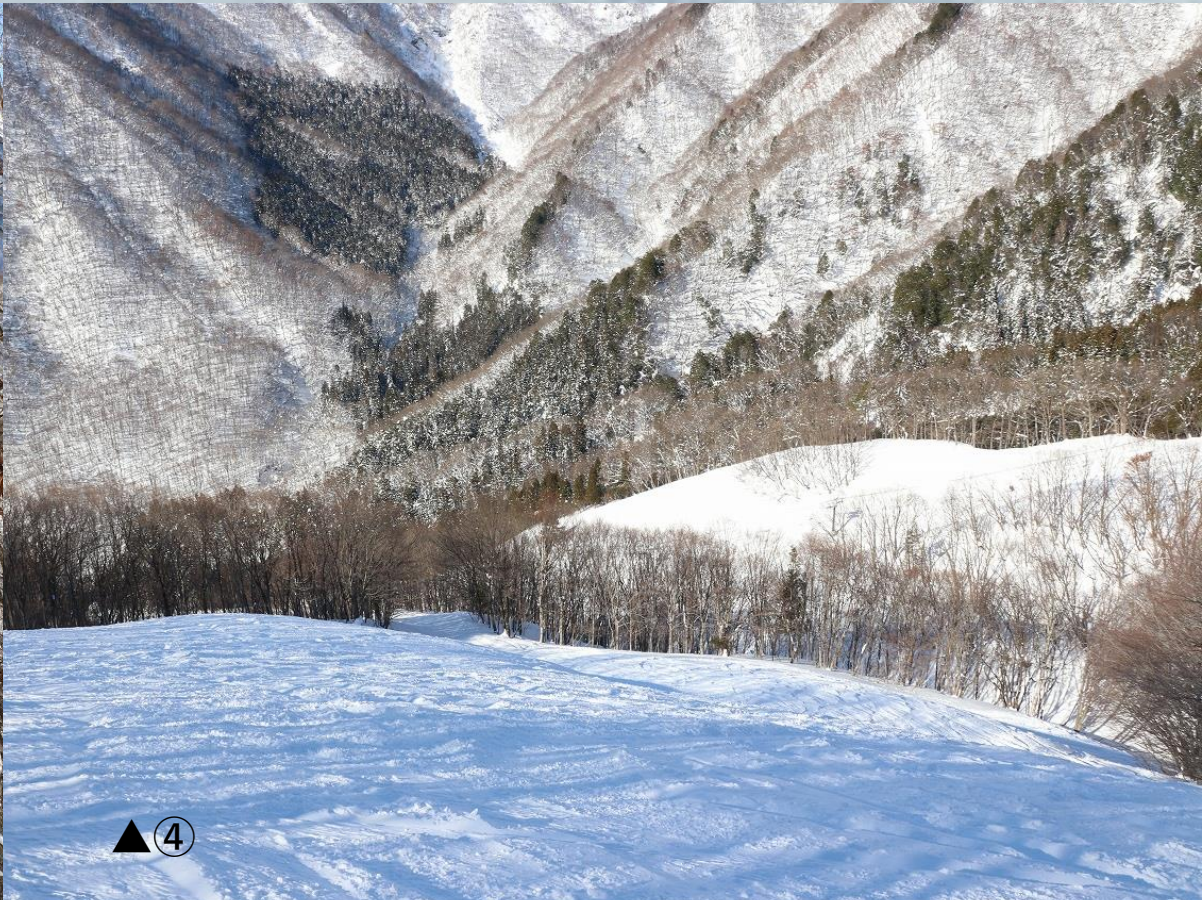
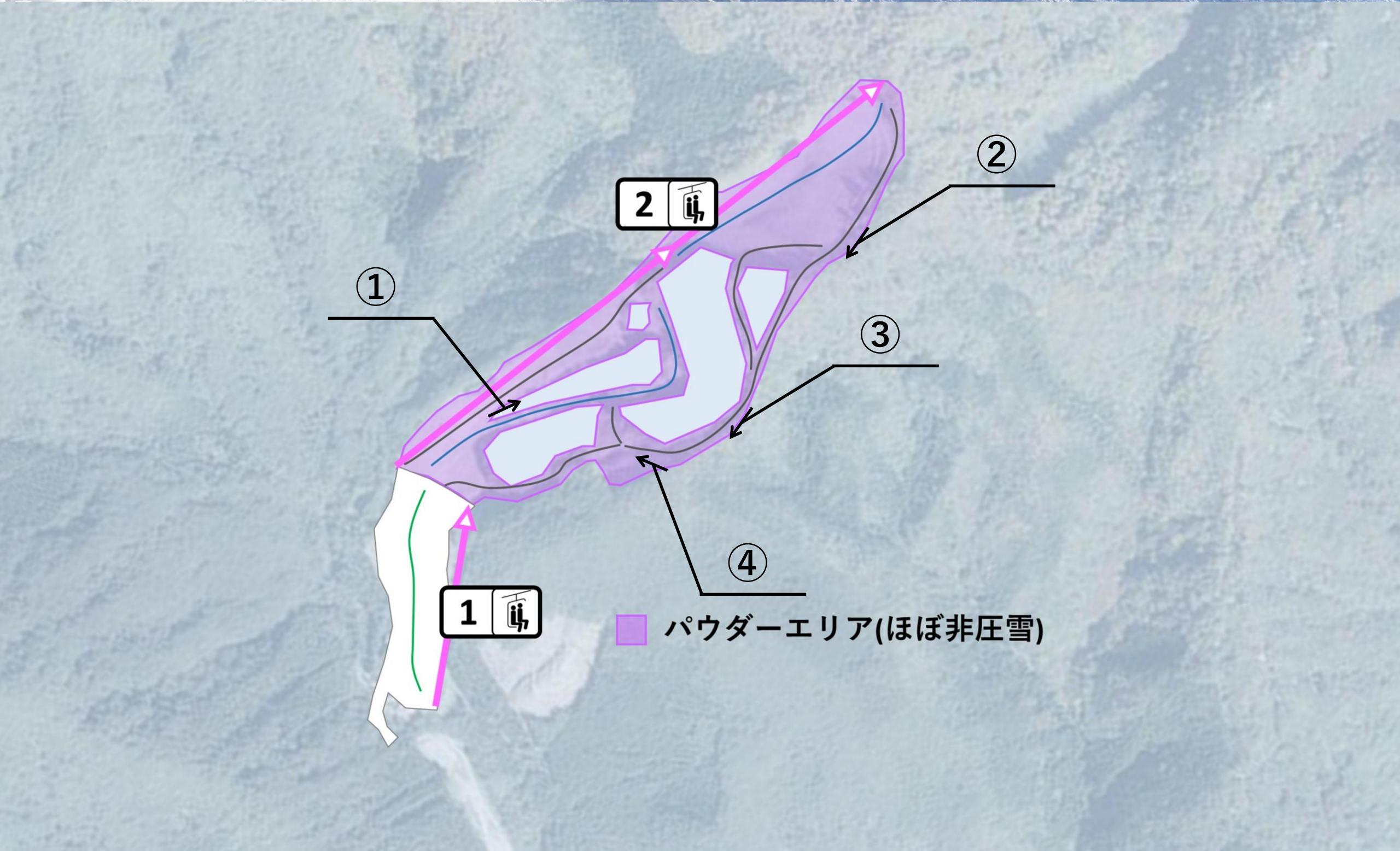


▲チャンピオン

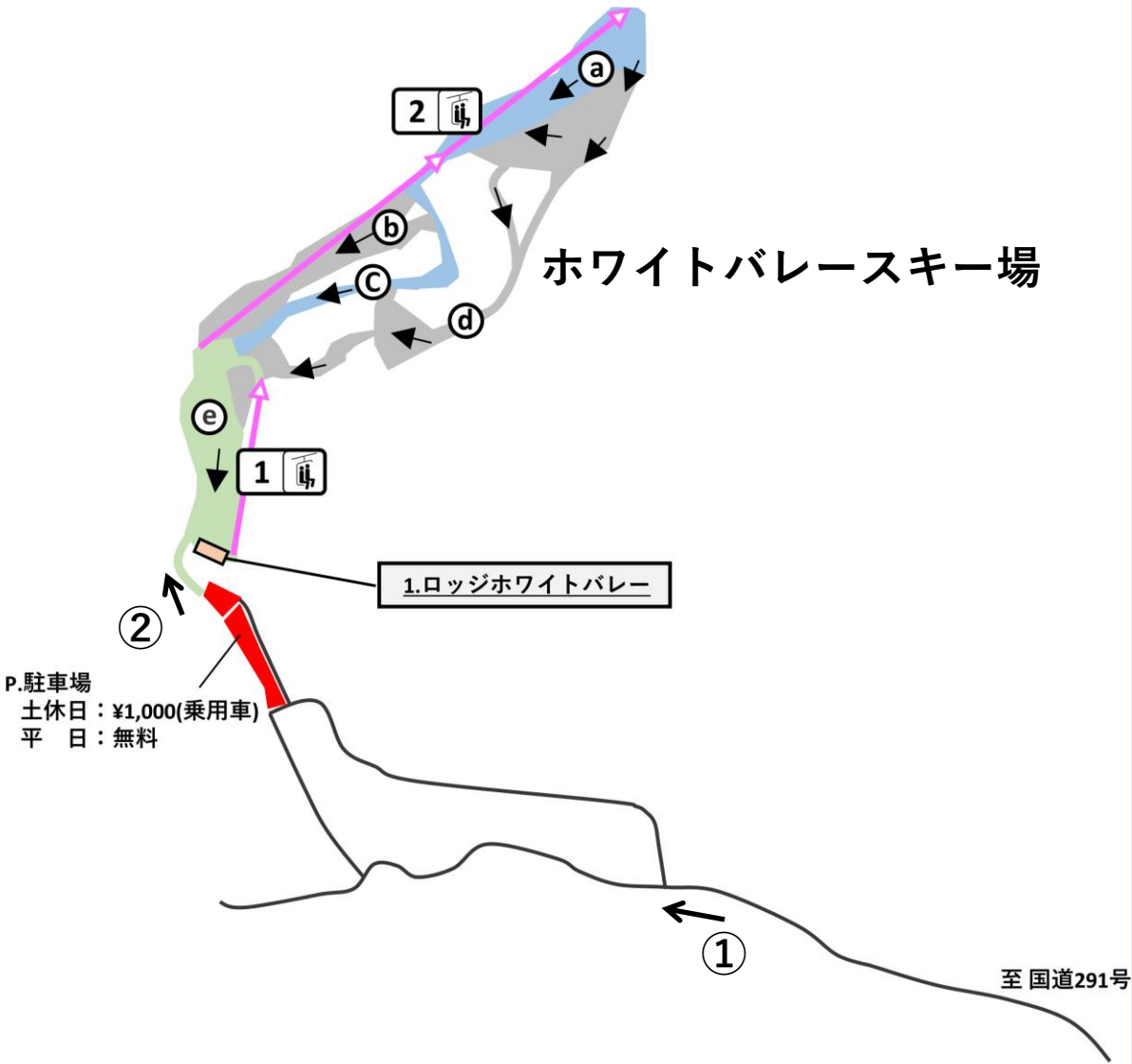


▲チャンピオン

コースマップ



駐車場情報



▼①アクセス路



P.屋外駐車場

時間(平日)	終日駐車OK
(休日)	終日駐車OK
料金(平日)	無料
(休日)	¥1,000(乗用車) ¥2,000(大型)
収容台数	約200台

▼ 駐車場（ゲレンデ寄りの約60台分は、舗装されている）

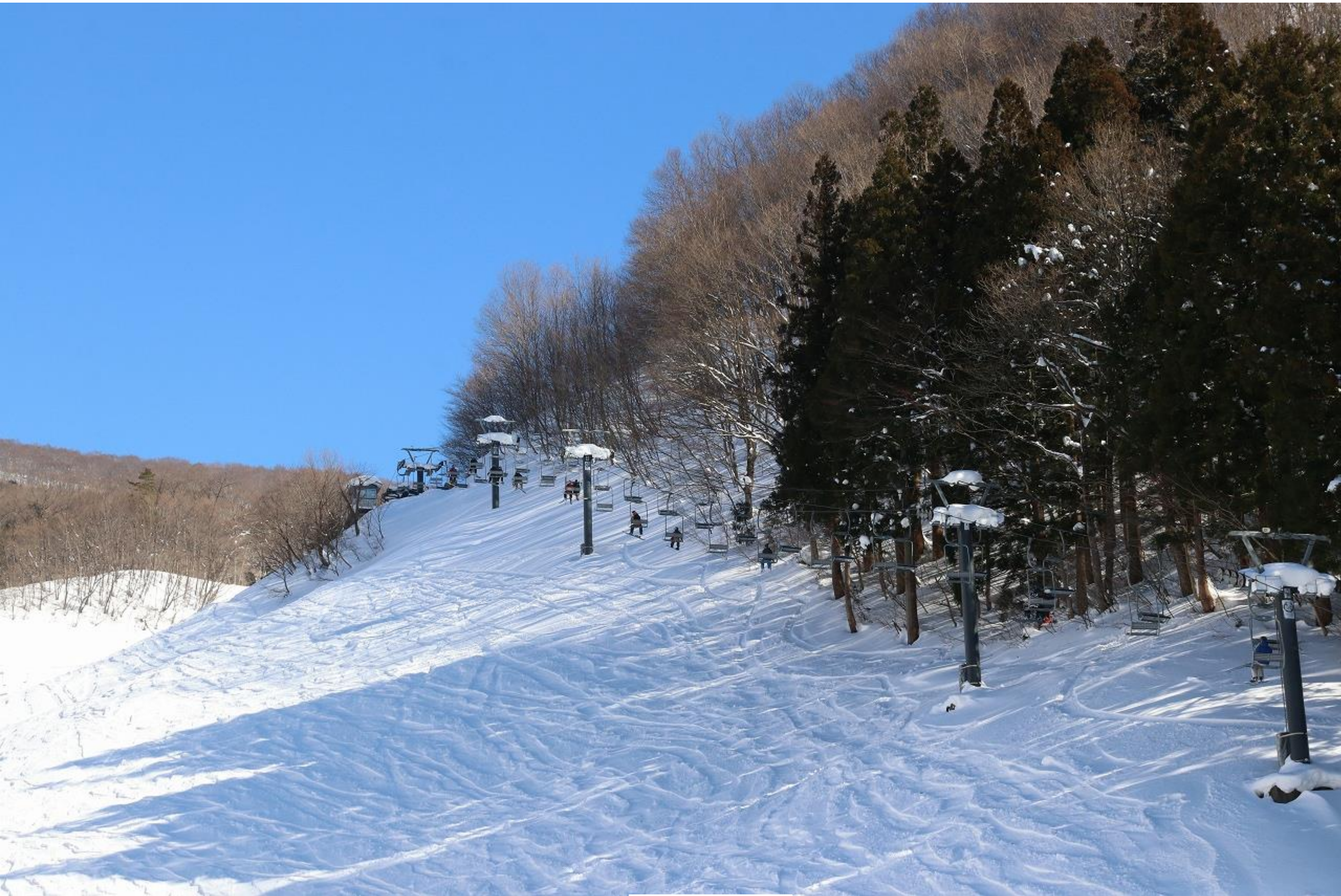


▼②ゲレンデへのアクセス路（少々登りとなっている）





1.第1ペア



線路諸元

名称：第1ペア
正式名称：第1ロマンスリフト

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	272 m
高低差	86 m
輸送能力	1,200 p/h
回転方向	時計
支柱数	6 基
速度	1.6 m/s
定員	2 名
搬器	—
原動出力	? kW
緊張方式	重錘
原動位置	山麓
緊張位置	山麓
事業許可年月	1988年12月
運行開始年月	1988年11月
メーカー	太平索道 (更新:日本ケーブル)

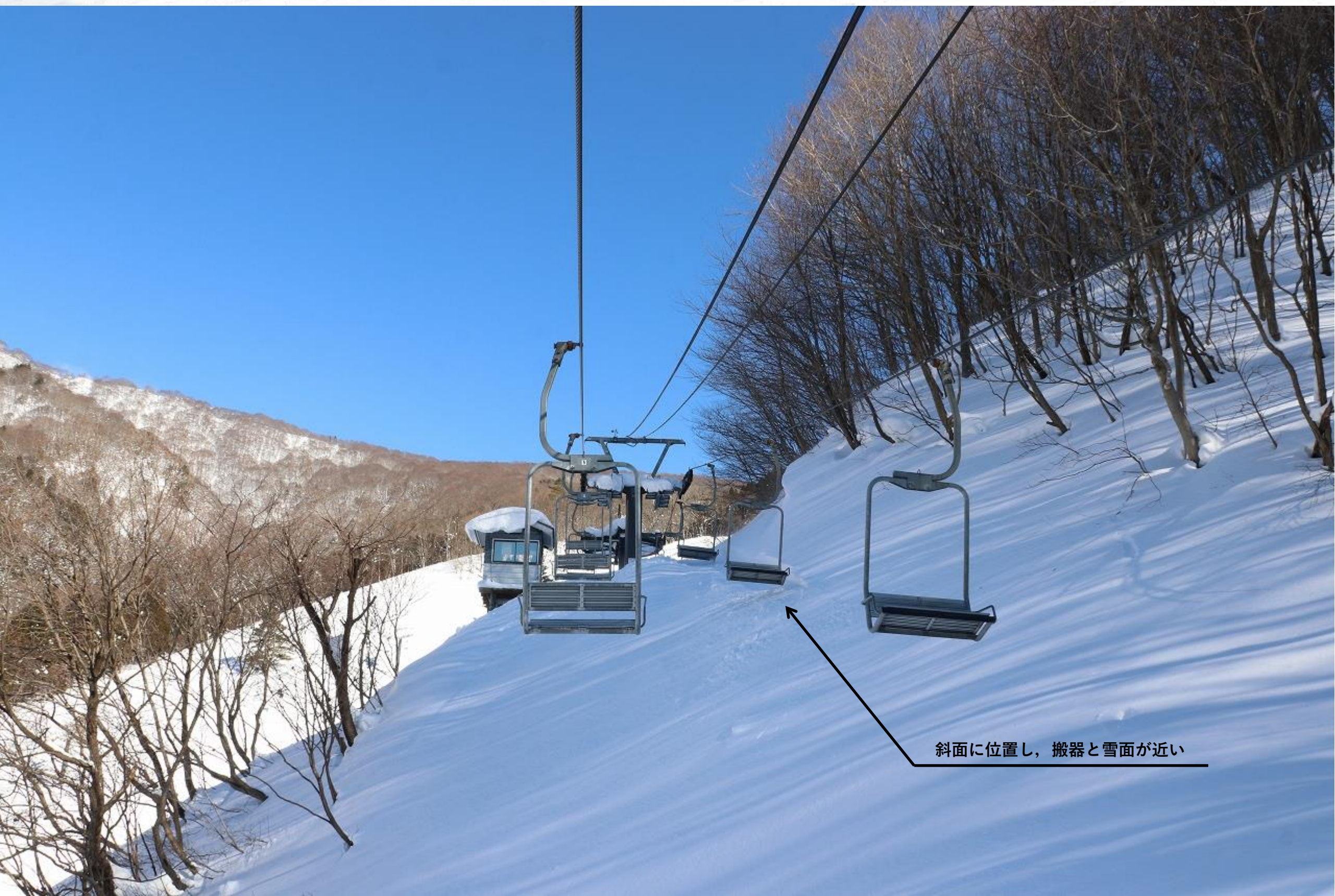
▼山麓停留所



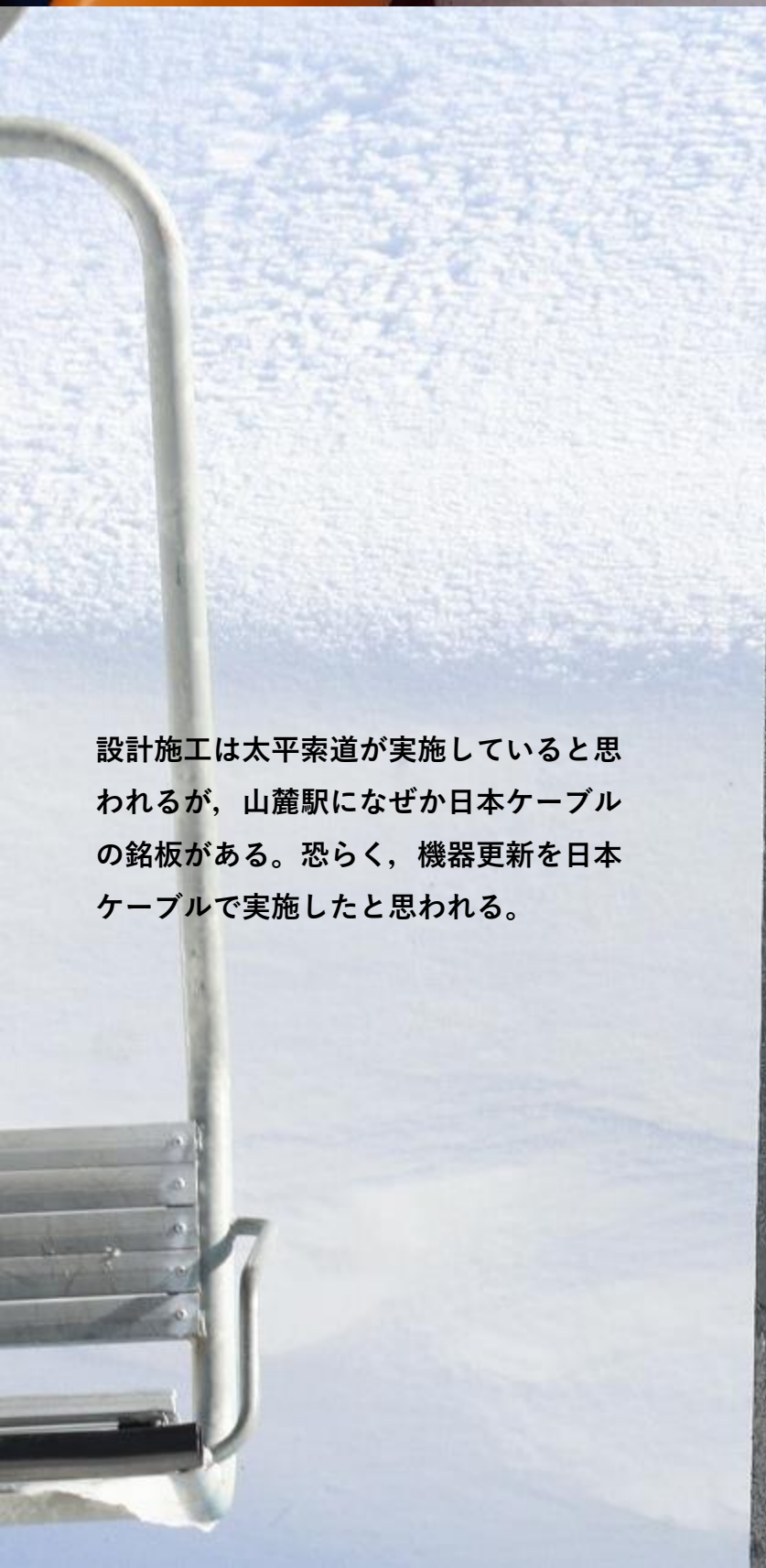
▼山頂停留所



1.第1ペア



1.第1ペア



設計施工は太平索道が実施していると思われるが、山麓駅になぜか日本ケーブルの銘板がある。恐らく、機器更新を日本ケーブルで実施したと思われる。



2.第2ペア



線路諸元

名称：第2ペア
正式名称：第2ロマンスリフト

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	950 m
高低差	316 m
輸送能力	1,200 p/h
回転方向	時計
支柱数	19 基
速度	2.3 m/s
定員	2 名
搬器	—
原動出力	? kW
緊張方式	重錘
原動位置	山麓
緊張位置	山麓
事業許可年月	1992年9月
運行開始年月	1992年12月
メーカー	太平索道 (機器更新:日本ケーブル)

※中間停留所有り

▼山麓停留所



▼山頂停留所



2.第2ペア



2.第2ペア

非常に珍しい，中間乗り場



名称 ホワイトバレー第2ロマンズリフト 平成2年12月28日完成

傾斜：う長 950.39^m 搬器 138台 定員 2名

搬器間隔 6秒 運転速度 23^m/秒 毎時輸送量 1200名

谷川温泉観光開発株式会社